

個人14

受 令和 4 年 8 月 25 日  
付 午前・午後 2 時 20 分

一般質問（代表・個人） 通告書

令和 4 年 8 月 25 日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 山下 幹雄

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により9月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 1 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. 1	名古屋市との自治体合併の可能性について
要 旨	<p>この国の「少子高齢化」「人口減少」の歯止めは利かず、さらに加速の様相を感じている。本市の状況を見ても相違わず第2期総合戦略に掲げた「人口減少の克服、雇用機会の創出」などに向けた施策期間も迎え、どこまで対応はできているのだろうか。平成28年作成人口ビジョンでは総人口は82,637人(2020年)をピークに66,322人(2060年)に減少。40年間で16,315人の減少となり(ピーク時の2割減)。を推計明記している。実際、本市人口は現在8万4千人弱ではあるが、本年度に入ってから大幅的には小さいながら減少となっている。こうした中、令和6年度よりの総合計画策定が進んでいるが、市民が望む持続可能な生活空間を保持出来るのだろうか。10年スパンの保持に留まらず市民福祉に資する行政の役割として、広い視野を持ってあらゆる選択肢を検証して行くべきと考え、具体的に名古屋市との合併について確認すべく質問立てした。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 本市の自治体の合併に対する検討の歴史と結果について</li><li>(2) 総合計画策定ごとにおける合併構想の有無について</li><li>(3) 市町村合併、連携等の市民意識調査について</li><li>(4) 名古屋市との合併によるメリット、デメリットについて</li><li>(5) 可能性について</li></ol>